

## 2025年度 学科別授業科目一覧表 (実務経験表記あり)

課程：工業専門課程

学科：高度情報システム科

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
58	Java演習Ⅱ	3	30	1.5	必修	実習	無
59	Java演習Ⅲ	3	60	3	必修	実習	有
60	Java文法Ⅱ	3	30	2	必修	講義	無
61	モバイルアプリケーション開発	3	60	3	必修	実習	有
62	UMLⅠ	3	30	2	必修	講義	有
63	UMLⅡ	3	30	2	必修	講義	有
64	Oracle DBA	3	60	3	必修	実習	有
65	CCNAVⅦ	3	30	1.5	必修	実習	無
66	CCNAVⅧ	3	30	2	必修	講義	無
67	CCNAⅨ	3	30	1.5	必修	実習	無
68	CCNAⅩ	3	30	2	必修	講義	無
70	インフラ設計構築演習	3	60	3	必修	実習	有
71	データサイエンス基礎Ⅰ	3	60	3	必修	実習	無
72	データサイエンス基礎Ⅱ	3	60	3	必修	実習	無
73	サーバ構築	3	60	4	必修	実習	有
75	セキュリティ監査	3	30	2	必修	講義	有
76	脆弱性診断	3	30	1.5	必修	実習	無
77	事例研究	3	60	3	必修	実習	無
78	応用数学Ⅰ	3	30	2	必修	講義	無
79	応用数学Ⅱ	3	30	2	必修	講義	無
80	電気基礎	3	30	2	必修	講義	無
81	応用英語Ⅰ	3	30	2	必修	講義	有
82	応用英語Ⅱ	3	30	2	必修	講義	有
83	一般常識Ⅰ	3	30	2	必修	講義	無
84	一般常識Ⅱ	3	30	2	必修	講義	無
85	情報関連法規Ⅱ	3	30	2	必修	講義	有
86	就職対策Ⅰ	3	30	2	必修	講義	有
87	就職対策Ⅱ	3	30	2	必修	講義	有

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
88	企業会計Ⅱ	3	30	2	必修	講義	有
89	体育実習Ⅲ	3	30	1.5	必修	実習	無
90	課外活動Ⅲ	3	15	1	選択	実習	無

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	Java演習Ⅱ		砂賀 勝己	無	1.5 単位	30 時間
	講義	Java文法Ⅱ				2 単位	30 時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
Java言語の基礎について学習する。具体的にはオブジェクト指向言語で用いられるクラスや関連する用語（継承、オーバーライド、インターフェースなど）の機能について理解し、プログラミングできるようになることを目指す。							
<b>【講義概要】</b>							
すでにC言語を学習済みなので、文法・記述方法が同じ部分については復習的な内容で行う。 演習に関しては文法の内容を踏まえ、それを実際にプログラミングすることにより文法の理解を深めていく。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	抽象クラス、アダプタークラス						
2	匿名クラス						
3	例外-その2						
4	スレッド						
5	リーダー						
6	ライター						
7	中間試験						
8	メニュー						
9	ツールバー						
10	総合演習1						
11	Severt/JSP1						
12	Severt/JSP2						
13	総合演習2						
14	総合演習3						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
	割合	60%		20%	20%		100%
	(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。						
<b>【教員紹介】</b>							
教員歴30年強。プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当。 学内情シスのような業務も行っている。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	Java演習Ⅲ		仲 智弘	有	3単位 60時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>Java言語の基本文法を修得</li> <li>Javaライブラリを使用したWebアプリ制作</li> <li>JavaフレームワークSpringBootの習得</li> </ul>							
<b>【講義概要】</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>文法の解説</li> <li>ライブラリ使用方法の解説</li> <li>フレームワーク使用方法の解説</li> </ul>							
回	授業計画及び学習の内容						
1	匿名クラス / ラムダ式 / メソッド参照、コンストラクタ参照						
2	高階関数 / ストリーム / enum						
3	リフレクション / アノテーション / Web フレームワーク / GUI						
4	Spark Framework / H2 database / Thymeleaf / Swing 連携						
5	同上						
6	同上						
7	まとめ						
8	SpringBoot 演習						
9	同上						
10	同上						
11	同上						
12	同上						
13	同上						
14	同上						
15	総復習						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計	
割合	60%			40%		100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。</li> <li>原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> <li>レポートや自習課題は必ず提出すること。</li> </ul>						
<b>【教員紹介】</b>							
独立系IT企業にてSE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
Spring Boot 3 プログラミング入門							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	講義	Java文法Ⅱ		砂賀 勝己	無	2単位 30時間															
	実習	Java演習Ⅱ				1.5単位 30時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
Java言語の基礎について学習する。具体的にはオブジェクト指向言語で用いられるクラスや関連する用語（継承、オーバーライド、インターフェースなど）の機能について理解し、プログラミングできるようになることを目指す。																					
<b>【講義概要】</b>																					
すでにC言語を学習済みなので、文法・記述方法が同じ部分については復習的な内容で行う。 演習に関しては文法の内容を踏まえ、それを実際にプログラミングすることにより文法の理解を深めていく。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	抽象クラス、アダプタークラス																				
2	匿名クラス																				
3	例外-その2																				
4	スレッド																				
5	リーダー																				
6	ライター																				
7	中間試験																				
8	メニュー																				
9	ツールバー																				
10	総合演習1																				
11	Servlet/JSP1																				
12	Servlet/JSP2																				
13	総合演習2																				
14	総合演習3																				
15	期末試験																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>60%</td><td></td><td>20%</td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%		20%	20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	60%		20%	20%		100%															
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。																					
<b>【教員紹介】</b>																					
教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当. 学内情シスのような業務も行っている。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	モバイルアプリケーション開発		高橋 義博	有	3単位 60時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
これまで複数年に渡りプログラミング言語を学習してきた成果を活かし、アプリ開発を学習していく。初めてとなるプログラミング言語 Kotlinを学び、一歩ずつアプリ開発を行い、複数のアプリを制作していく。																					
<b>【講義概要】</b>																					
Kotlinの基礎を学んだ後に、小さなアプリ開発を行い、アプリを完成させる達成感を体験するように授業は進んでいく。教科書を使用するため、教科書は必携すること。(貸出不可)																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Android Studio1について。Kotlinについて。																				
2	Kotlinについて。																				
3	じゃんけんアプリ作成																				
4	フラワーシミュレーター																				
5	フラワーシミュレーター																				
6	エモーショナル写真集																				
7	エモーショナル写真集																				
8	早口言葉の達人																				
9	早口言葉の達人																				
10	いつでもどこでも難読漢字																				
11	いつでもどこでも難読漢字																				
12	ぜったい挫折しない日記帳																				
13	ぜったい挫折しない日記帳																				
14	課題レポート																				
15	課題レポート																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他 ( )</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>60%</td><td></td><td>20%</td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計	割合	60%		20%	20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計															
割合	60%		20%	20%		100%															
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。																					
<b>【教員紹介】</b>																					
15年以上、Webデザイナー・Webプログラマとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
いきなりプログラミング Androidアプリ開発、Sara (著)、翔泳社																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	UML I		潮 達也	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
到達目標はシステム開発の実践の場で要件定義、基本設計、詳細設計、プログラム設計等でUMLでドキュメントを作成出来るようになることで、環境としてはUML統合環境ツールの使用を一人称で活用出来るところを目指します							
<b>【講義概要】</b>							
UML統合環境を使用しそれぞれのダイアグラムを各表記法にてどう描くかを想像できるよう実践的な捉え方を習得する							
回	授業計画及び学習の内容						
1	UMLとは オブジェクト指向 歴史的背景 標準化 Astah professionalツールの使用法とダイアグラムの種類の説明						
2	ユースケース図 特徴(振る舞い図) 表記ルール アクターとユースケース オブジェクト間の関係						
3	ユースケース図 関連 包含 拡張 汎化 演習問題(基本問題 問題の捉え方 掴み方)						
4	ユースケース図 演習問題(応用問題 実践問題 解放の手引き)						
5	オブジェクト図 特徴(構造図) 表記ルール オブジェクトアイコン 属性 関係 インスタンスとクラス						
6	オブジェクト図 演習問題(基本問題 応用問題 解放の手引き)						
7	中間試験						
8	クラス図 特徴 表記ルール 属性 操作 可視性 多重度 ロール クラス間の関係について						
9	クラス図 関係には(関連 限定子 複数関連 集約 依存 汎化)						
10	クラス図 関係には(コンポジション 実現 抽象クラス 関連クラス)						
11	クラス図 演習問題(基本問題からクラスアイコン クラス間の関係の表記 ロールと多重度の表記)						
12	クラス図 演習問題(応用問題 実践問題 UML/L1レベル相当の問題)						
13	シーケンス図 特徴 表記ルール 同期メッセージ 非同期メッセージ リプライメッセージ						
14	シーケンス図 ロストメッセージ ファウンドメッセージ 実行指定						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計
	割合	75%	10%		15%		100%
	(補足)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。</li> <li>・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> <li>・レポートや自習課題は必ず提出すること。</li> </ul>					
<b>【教員紹介】</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT企業にて開発プロジェクトに従事 (SE)</li> <li>・富士通のシステムソリューション部門でC言語の講義実習(2回)</li> <li>・富士通ユーザーの情報システム部にてC言語・SQLの講義実習(1週間)</li> </ul>							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
技術評論社 かんたんUML入門 [改訂2版] ナツメ社 はじめて学ぶUML 第2版							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2025	3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
専門 必修	講義	UML II	潮 達也	有
単位・時間数				
2単位 30時間				

## 【授業の到達目標及びテーマ】

到達目標はシステム開発の実践の場で要件定義、基本設計、詳細設計、プログラム設計等でUMLでドキュメントを作成出来るようになることで、環境としてはUML統合環境ツールの使用を一人称で活用出来るところを目指します

## 【講義概要】

前年2年生後期からの継続実習でUML統合環境を活用したダイアグラム表記が各表記法で描けかつ実践的な表記を習得する

回	授業計画及び学習の内容
1	シーケンス図 制御構造化表現の表記法 パラレル クリティカル break ref assert seq ignore strict
2	シーケンス図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説) 演習の解法・解説
3	コミュニケーション図 ライフライン及び基本表記法 メッセージの種類・表記法 オブジェクトの関連
4	コミュニケーション図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)
5	ステートマシン図 基本的表記法 状態遷移の表記法 状態の階層化 疑似状態 状態再利用 拡張の表記
6	ステートマシン図 状態遷移とトリガ 状態の階層化 直交状態 各々疑似状態 履歴疑似 選択疑似
7	中間試験
8	ステートマシン図 フォークとジョイン疑似 ジャンクション疑似 停止疑似 合成状態
9	ステートマシン図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)
10	アクティビティ図 基本的表記法 アクションとノード 各々のノード 各々のアクション 表記上の注意点
11	アクティビティ図 パーティション 呼出し振舞アクション 入出力ピン パラメータアクティビティノード
12	アクティビティ図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)
13	パッケージ図 基本的表記法 パッケージ図の描き方 階層構造 依存関係 表記上の注意点
14	パッケージ図 内部要素の切り出し 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	75%	10%		15%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。  
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。  
 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

- ・IT企業にて開発プロジェクトに従事(SE)
- ・富士通のシステムソリューション部門でC言語の講義実習(2回)
- ・富士通ユーザーの情報システム部にてC言語・SQLの講義実習(1週間)

## 【教科書・参考文献】

技術評論社 かんたんUML入門 [改訂2版] ナツメ社 はじめて学ぶUML 第2版

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	実習	Oracle DBA		坂井 剛	有	3単位 60時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
Oracleデータベースシステムの構成技術の修得、及び実際にシステム構築を通して実体験を行う。 ベンダー資格「ORACLE MASTER Bronze DBA 2019」取得を目的とする。							
<b>【講義概要】</b>							
教科書を利用した学習と実演習を通し、Oracle Master Bronze取得に必要な総合知識を修得する。 その他、Oracle Master Silverの一部領域、試験範囲外だが重要な項目に関しても本講義で取り入れる。 「ORACLE MASTER Bronze DBA 2019」以上の資格取得により本講義は免除となる。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Oracleデータベース管理の概要						
2	Oracleソフトウェアのインストールとデータベースの作成						
3	Oracle Enterprise Manager Database ExpressおよびSQL管理ツールの使用						
4	Oracle Network環境の構成						
5	Oracleインスタンスの管理						
6	データベース記憶域構造の管理						
7	初期化パラメータと制御ファイルの管理						
8	中間試験						
9	ユーザーおよび権限管理						
10	スキーマオブジェクト（ビュー、索引、順序、別名）						
11	データベースの監視およびアドバイザの使用						
12	データベースのバックアップとリカバリ						
13	マルチテナントデータベース						
14	総合復習演習						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
	割合	70%			30%		100%
	(補足)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。</li> <li>・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> <li>・レポートや自習課題は必ず提出すること。</li> </ul>					
<b>【教員紹介】</b>							
大学院出身後、8年間企業においてSEとして業務に携わる。 その後2010年より教員として勤務。 Oracle Master 10g~12c Silver (10g Goldは筆記のみ取得) 所有。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
『オラクルマスター教科書 Bronze DBA Oracle Database Fundamentals』（翔泳社、ISBN-9784798166360） 『オラクルマスター教科書 Silver DBA Oracle Database Administration I』（翔泳社、ISBN-9784798166353）							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	CCNAVII		平塚悠生	無	1.5 単位	30 時間
	講義	CCNAVIII				2 単位	30 時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
最終的にはCCNAを取得するだけの知識と、ネットワーク機器の基本的な操作を身につける							
<b>【講義概要】</b>							
STP、ポートセキュリティ、IPv6などの具体的な技術および仮想化、負荷分散を実現する考え方を扱う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	STP概要①						
2	STP概要②						
3	ポートセキュリティの概要と設定						
4	IPv6概要						
5	IPv6の設定						
6	ここまでの振り返り（中間試験対策）						
7	中間試験						
8	無線LAN概要①						
9	無線LAN概要②						
10	各種仮想化技術①（トンネリング、EtherChannel）						
11	各種仮想化技術②（FHRP）						
12	ネットワーク管理技術（SNMP、システムログ）						
13	ネットワークのトラブルシュート						
14	ここまでの振り返り（期末試験対策）						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	70%			30%		100%	
（補足） <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。</li> <li>・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> <li>・レポートや自習課題は必ず提出すること。</li> </ul>							
<b>【教員紹介】</b>							
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は17年程度。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
（参考文献）翔泳社「Cisco CCNA完全合格テキスト&問題集」							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	CCNAVIII		平塚悠生	無	2単位	30時間
	実習	CCNAVII				1.5単位	30時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
最終的にはCCNAを取得するだけの知識と、ネットワーク機器の基本的な操作を身につける							
<b>【講義概要】</b>							
STP、ポートセキュリティ、IPv6などの具体的な技術および仮想化、負荷分散を実現する考え方を扱う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	STP概要①						
2	STP概要②						
3	ポートセキュリティの概要と設定						
4	IPv6概要						
5	IPv6の設定						
6	ここまでの振り返り（中間試験対策）						
7	中間試験						
8	無線LAN概要①						
9	無線LAN概要②						
10	各種仮想化技術①（トンネリング、EtherChannel）						
11	各種仮想化技術②（FHRP）						
12	ネットワーク管理技術（SNMP、システムログ）						
13	ネットワークのトラブルシュート						
14	ここまでの振り返り（期末試験対策）						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	70%			30%		100%	
（補足） <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。</li> <li>・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> <li>・レポートや自習課題は必ず提出すること。</li> </ul>							
<b>【教員紹介】</b>							
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は17年程度。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
（参考文献）翔泳社「Cisco CCNA完全合格テキスト&問題集」							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2025	3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
専門 必修	実習	CCNAIX	平塚悠生	無
	講義	CCNA X		

## 【授業の到達目標及びテーマ】

最終的にはCCNAを取得するだけの知識と、ネットワーク機器の基本的な操作を身につける

## 【講義概要】

実践的な問題演習を通してこれまで学習してきた知識の総整理を図る

回	授業計画及び学習の内容
1	問題演習と解説（ネットワークの基礎）
2	問題演習と解説（Ciscoルータの初期設定）
3	問題演習と解説（ルータの主な役割、ルーティング）
4	問題演習と解説（OSPF）
5	問題演習と解説（ACL）
6	問題演習と解説（NAT、DHCP、DNS）
7	中間試験
8	問題演習と解説（スイッチの基本設定とVLAN）
9	問題演習と解説（STP）
10	問題演習と解説（EtherChannel）
11	問題演習と解説（IPv6）
12	問題演習と解説（HSRP、QoS、SNMP）
13	問題演習と解説（システムログ、CDP、LLDP、IOSの管理）
14	問題演習と解説（セキュリティ機能）
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。  
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。  
 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は17年程度。

## 【教科書・参考文献】

(参考文献) 翔泳社「Cisco CCNA完全合格テキスト&問題集」

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	CCNA X		平塚悠生	無	2単位 30時間	
	実習	CCNAIX				1.5単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
最終的にはCCNAを取得するだけの知識と、ネットワーク機器の基本的な操作を身につける							
<b>【講義概要】</b>							
実践的な問題演習を通してこれまで学習してきた知識の総整理を図る							
回	授業計画及び学習の内容						
1	問題演習と解説（ネットワークの基礎）						
2	問題演習と解説（Ciscoルータの初期設定）						
3	問題演習と解説（ルータの主な役割、ルーティング）						
4	問題演習と解説（OSPF）						
5	問題演習と解説（ACL）						
6	問題演習と解説（NAT、DHCP、DNS）						
7	中間試験						
8	問題演習と解説（スイッチの基本設定とVLAN）						
9	問題演習と解説（STP）						
10	問題演習と解説（EtherChannel）						
11	問題演習と解説（IPv6）						
12	問題演習と解説（HSRP、QoS、SNMP）						
13	問題演習と解説（システムログ、CDP、LLDP、IOSの管理）						
14	問題演習と解説（セキュリティ機能）						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
	割合	100%					100%
	(補足)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。</li> <li>原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> <li>レポートや自習課題は必ず提出すること。</li> </ul>					
<b>【教員紹介】</b>							
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は17年程度。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
(参考文献) 翔泳社「Cisco CCNA完全合格テキスト&問題集」							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	インフラ設計構築演習		坂巻 吉則	有	3単位 60時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
小規模ネットワークの設計構築に必要な知識の習得および、各種設計書の理解と作成する技能を身に着ける。また、設計書に基づいたネットワーク環境を構築し、トラブルシューティングを行う事ができる。																					
<b>【講義概要】</b>																					
各回ともそのテーマに関する、演習課題（実機コマンド操作）を1～3問程度出題する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	ネットワークの物理構成																				
2	ネットワークの物理構成																				
3	ネットワークの論理構成																				
4	ネットワークの論理構成																				
5	ネットワークのセキュリティ																				
6	ネットワークの冗長化構成																				
7	ネットワークの運用管理																				
8	ネットワークシステムの設計と構築																				
9	ネットワークシステムの設計と構築																				
10	総合演習課題1																				
11	総合演習課題1																				
12	総合演習課題1																				
13	総合演習課題2																				
14	総合演習課題2																				
15	総合演習課題2																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（出席点）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>40%</td> <td></td> <td></td> <td>20%</td> <td>40%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席点）	合計	割合	40%			20%	40%	100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席点）	合計															
割合	40%			20%	40%	100%															
(補足) <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。</li> <li>・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> <li>・レポートや自習課題は必ず提出すること。</li> </ul>																					
<b>【教員紹介】</b>																					
IT教育専門会社の代表としてIT教育関連事業に従事する。現在は主に提携する大手メーカー系Sierのサーバー・ネットワーク系講師としての登壇および、カリキュラム開発を担当。大手ITスクールにてインフラ系インストラクターのリーダーとして教育業務経験、独立系Sierにてサーバー・ネットワークシステムの設計構築、および関連するカリキュラム開発業務の経験あり。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
ネットワークシステム設計構築実践（オリジナルテキスト）																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	データサイエンス基礎 I		鹿子木 範昭	無	3単位 60時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
データサイエンスの基礎的理解および知識の習得とその適用							
<b>【講義概要】</b>							
主にEXCELを使ったデータ分析・解析を中心に学ぶ。統計基礎知識についても解説していく。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	統計学とデータサイエンス						
2	社会におけるデータ・AIの利活用						
3	EXCELで始めるデータ分析の基本（1）						
4	EXCELで始めるデータ分析の基本（2）						
5	EXCELVBAの活用（1）						
6	EXCELVBAの活用（2）						
7	中間試験						
8	EXCELを使ったシミュレーション						
9	さまざまな統計分析（1）						
10	さまざまな統計分析（2）						
11	さまざまな統計分析（3）						
12	さまざまな統計分析（4）						
13	実際の公的データを使ったデータ分析						
14	実際のデータサイエンスで起こる問題						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
	割合	60%	30%		10%		100%
	(補足) <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。</li> <li>・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> <li>・レポートや自習課題は必ず提出すること。</li> </ul>						
<b>【教員紹介】</b>							
大学・大学院等で30年以上の経営情報の研究教育歴があり、本学でも10年以上の教育歴がある。企業などでプロジェクトに参加し、マネジメントの経験がある。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
データサイエンス入門 Excelで学ぶ統計データの見方・使い方・集め方（オーム社）							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	データサイエンス基礎Ⅱ		鹿子木 範昭	無	3単位 60時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
データサイエンスの基礎的知識とその活用方法を習得する																					
<b>【講義概要】</b>																					
統計ソフトである「R」および「Python」を使用してデータサイエンスの理解を深める																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	開発環境の整備、言語の基本操作																				
2	言語の基本操作																				
3	基本統計量（1）																				
4	基本統計量（2）																				
5	データの分析手法（1）																				
6	データの分析手法（2）																				
7	中間試験																				
8	確率の基本と推定																				
9	検定の手法（1）																				
10	検定の手法（2）																				
11	検定の手法（3）																				
12	予測と分類（1）																				
13	予測と分類（2）																				
14	まとめ																				
15	期末試験																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>60%</td><td></td><td></td><td>10%</td><td>30%</td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%			10%	30%	100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	60%			10%	30%	100%															
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。																					
<b>【教員紹介】</b>																					
大学・大学院等で30年以上の経営情報の研究教育歴があり、本学でも10年以上の教育歴がある。企業などでプロジェクトに参加し、マネジメントの経験がある。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
「RとPythonで学ぶ時計学入門」 増井敏克著 オーム社																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	サーバ構築		砂賀 勝己	有	4単位 60時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
社会ではとても多くのWindowsマシンが使われており、それをセキュアな状態に保つ、管理を行うためのスキルはとても重要である。本講座ではそのための基礎知識となるWindowsクライアント/サーバのセキュリティ設定に関する手法を取得することを目的とする。																					
<b>【講義概要】</b>																					
Windowサーバ/クライアント環境におけるセキュアなシステム構築の手法について学習する																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Windowsドメイン、ワークグループ、Active Directory																				
2	ユーザとグループ-概要、ローカルとドメインでの違いなど																				
3	ドメインでのグループと組織単位の管理																				
4	NTFSアクセス権																				
5	共有アクセス権																				
6	共有フォルダの管理																				
7	グループポリシー1																				
8	グループポリシー2																				
9	グループポリシー3																				
10	EFS(暗号化ファイルシステム)、リモートでの管理																				
11	イベントログ、監査1																				
12	監査2																				
13	ディスクの管理																				
14	ネットワークコマンド																				
15	実技試験																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他 ( )</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。としない。																					
<b>【教員紹介】</b>																					
教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当. 学内情シスのような業務も行っている.																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	セキュリティ監査		村上 浩紀	有	2単位 30時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

企業における内部監査を理解し、情報セキュリティ監査制度の知見をえて、情報セキュリティ監査の基礎知識を習得することを目標とする。

## 【講義概要】

教科書をベースに情報セキュリティ内部監査を説明し、Web情報をベースに情報セキュリティ監査制度を追加で説明する。前提となる情報セキュリティの基礎知識についても触れる

回	授業計画及び学習の内容
1	内部監査とは
2	情報セキュリティ内部監査の位置づけと内部監査人の必要性
3	あらためて情報セキュリティの基礎を学ぶ
4	リスクマネジメント
5	情報セキュリティ監査制度
6	情報セキュリティ監査制度：監査基準
7	中間試験
8	情報セキュリティ監査制度：管理基準
9	情報セキュリティ内部監査組織の整備、監査の効率的な進め方
10	監査手続き
11	監査リスクと品質管理
12	情報セキュリティ監査の工程：年間監査計画、基本方針、予備的調査、実施計画、監査実施
13	情報セキュリティ監査の工程：意見形成、監査報告、フォローアップ
14	技術的検証、技術的検証と監査との関係、全体のまとめ
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%			40%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。  
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。  
 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。としない。

## 【教員紹介】

- (1) ITベンダー勤務、クラウドアーキテクト
- (2) 情報セキュリティ製品および認証系エンジニアとしての業務経験
- (3) 情報セキュリティの取り組み支援および講演、演習などの実務経験

## 【教科書・参考文献】

教科書：情報セキュリティ内部監査の教科書 改訂三版(インプレスR&D)  
 参考文献：情報セキュリティ監査制度：<https://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/is-kansa/>  
 参考文献：インターネットの安全・安心ハンドブック：<https://security-portal.nisc.go.jp/guidance/handbook.html>

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	脆弱性診断		砂賀 勝己	無	1.5単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
脆弱性とは何か、CVSS、診断手法や評価手法などについて学習する							
<b>【講義概要】</b>							
Webサイトの脆弱性に特化し、実際にシステムを操作しながら脆弱性を見つけレポートを作成する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ガイダンス						
2	脆弱性とは、CVSSとは、Webサイトの脆弱性とは、診断ツール紹介など						
3							
4							
5							
6							
7	Webサイトの脆弱性を診断する演習。						
8	診断ツールの使い方を調べる。						
9	レポートを作成する						
10							
11							
12							
13							
14	発表会						
15							
<b>【成績評価方法】</b>							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（レポートの内容と発表）	合計
	割合					100%	100%
	(補足) <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。</li> <li>・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> <li>・レポートや自習課題は必ず提出すること。</li> </ul>						
<b>【教員紹介】</b>							
教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当. 学内情シスのような業務も行っている.							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
-							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	事例研究		平塚悠生	無	3単位 60時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで学習してきた技術や知識を生かし、各自企画した内容の制作・研究を行う</li> <li>未知の内容について、みずから積極的に学ぶ姿勢を身に着ける</li> <li>卒業研究のプレとして、テーマやスケジュールの決定、発表準備の経験を積む</li> </ul>							
<b>【講義概要】</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>企画、計画、作業、報告というプロジェクトの一連の流れを経験する。</li> <li>ITに即したもので、活用するものであれば、企画の内容に原則制限はない。</li> <li>成果物の完成だけでなく、その過程も評価の対象とする。</li> </ul>							
回	授業計画及び学習の内容						
1	テーマの検討、決定。スケジュール表、企画書の作成						
2	企画内容・スケジュールのレビュー						
3	制作・研究						
4	制作・研究						
5	制作・研究						
6	制作・研究						
7	中間発表とレビュー						
8	制作・研究						
9	制作・研究						
10	制作・研究						
11	制作・研究						
12	制作・研究						
13	制作・研究						
14	最終発表の準備						
15	最終発表とレビュー						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（発表）	合計	
割合	40%		20%	20%	20%	100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。</li> <li>原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> <li>レポートや自習課題は必ず提出すること。</li> </ul>						
<b>【教員紹介】</b>							
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は16年程度。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
-							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	応用数学 I		氏原 真代	無	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
数学の基礎から、微分積分学や微分方程式など、高度な応用数学を身につけさせることを目的とする。							
<b>【講義概要】</b>							
微分積分学や微分方程式など、高度な応用数学を学習するために、数学の基礎を復習する。また、物理数学を含めた物理的な考えなどもあわせて学習する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	数と関数 数の性質・関数とグラフ・偶関数と奇関数						
2	指数・有効数字 指数の取り扱いや有効数字の扱い						
3	指数と対数（1） 指数関数・指数法則						
4	指数と対数（2） 対数関数・対数の性質						
5	三角関数（1） 弧度法・三角比・重要な公式・三角関数の合成						
6	前半まとめ 演習問題						
7	中間試験						
8	三角関数（2） 加法定理・加法定理から導かれる公式						
9	極限值（1） 極限値の性質						
10	極限值（2） 指数関数の極限值・三角関数の極限值						
11	極限值（3） 接線と法線・導関数						
12	微分（1） 微分公式						
13	微分（2） 合成関数の微分法						
14	後半まとめ 演習問題						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
	割合	80%	10%		10%		100%
	（補足） <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。</li> <li>・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> <li>・レポートや自習課題は必ず提出すること。</li> </ul>						
<b>【教員紹介】</b>							
本校診療放射線学科で専任講師として20年以上、数学・物理学・電気実験等を担当し、その後非常勤講師として、独立行政法人教育センターや各種専門学校等で、数学・物理学・電気実験等を担当							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
授業時にプリント配布・講義の際に紹介							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	応用数学Ⅱ		氏原 真代	無	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
微分積分学や微分方程式など、高度な応用数学を身につけさせることを目的とする。							
<b>【講義概要】</b>							
高度な応用数学を学習するために、数学の基礎を復習し、微分積分学や微分方程式などを学習する。また、物理数学を含めた物理的な考えなどもあわせて学習する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	微分（1）	指数関数の微分					
2	微分（2）	対数関数の微分					
3	微分（3）	高次導関数・マクローリン展開					
4	積分（1）	積分の公式・不定積分・定積分					
5	積分（2）	不定積分・定積分					
6	前半まとめ	演習問題					
7	中間試験						
8	積分（3）	置換積分法（不定積分・定積分）					
9	積分（4）	部分積分法（不定積分・定積分）					
10	積分（5）	積分復習					
11	積分（6）	面積					
12	微分方程式	1階微分方程式（変数分離形・同次形）					
13	微分方程式	1階微分方程式（線形）					
14	後半まとめ	演習問題					
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
	割合	80%	10%		10%		100%
	(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。						
<b>【教員紹介】</b>							
本校診療放射線学科で専任講師として20年以上、数学・物理学・電気実験等を担当し、その後非常勤講師として、独立行政法人教育センターや各種専門学校等で、数学・物理学・電気実験等を担当							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
授業時にプリント配布・講義の際に紹介							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	電気基礎		氏原 真代	無	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
<p>基本的な電気の考え方、公式を理解する。公式を使った計算ができるようになり、電気の基礎学力、特に基本的な回路を理解できることを目的とする。</p>							
<b>【講義概要】</b>							
<p>電気の基礎から、直列回路や回路素子、電磁気や電磁誘導などを学習する。また、物理数学を含めた物理的な考えなどもあわせて学習する。</p>							
回	授業計画及び学習の内容						
1	接頭語と単位の換算・電荷と電流・電位と電圧						
2	電気回路・オームの法則						
3	合成抵抗・直並列接続						
4	直並列回路・直流電圧計の倍率器・直流電流計の分流器						
5	キルヒホッフの法則						
6	前半まとめ・Nゲージ制御システム見学						
7	中間試験						
8	半導体・半導体の利用・トランジスタ						
9	コンデンサー・コンデンサーの接続						
10	いろいろな電気回路						
11	静電気力・電場						
12	電流と磁場・電流のつくる磁場						
13	電磁誘導・変圧器						
14	後半まとめ・コロナ放電と落雷の見学						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	80%	10%		10%		100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。</li> <li>・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> <li>・レポートや自習課題は必ず提出すること。</li> </ul>						
<b>【教員紹介】</b>							
<p>本校診療放射線学科で専任講師として20年以上、数学・物理学・電気実験等を担当し、その後非常勤講師として、独立行政法人教育センターや各種専門学校等で、数学・物理学・電気実験等を担当</p>							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
<p>授業時にプリント配布・講義の際に紹介</p>							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	応用英語 I		Tope Salami	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>- Staying updated with general and technology news from English news sources.</li> <li>- Reading, listening and implementing English technical documentation</li> </ul>							
<b>【講義概要】</b>							
Classes will comprise: reading about general and technology related news topics. creating projects that require reading technology manuals and sometimes listening, homework to learn and reinforce technology vocabulary.							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Introductions, English for IT, AI or Security Projects						
2	News Topic 1, Introduction to Software, Operating Systems, Project 1						
3	News Topic 2, Software Applications, IT Careers, Project 1						
4	News Topic 3, The Internet, People in IT, Project 1						
5	News Topic 4, Measurements, Programming Languages, Final Project 2						
6	News Topic 5, Computer Types, Components, Final Project 2						
7	News Topic 6, Peripherals, Networking, Final Projects Presentation						
8	News Topic 7, The Keyboard: Part 1 and Part 2, Project 3						
9	News Topic 8, Memory. Storage and Input Devices, Project 3						
10	News Topic 9, Removable Storage, IT Slang, Project 3 Presentation, Project 3						
11	News Topic 10, English for Electronics, Computer Ethics, Project 4						
12	News Topic 11, American IT companies, English for Programmers, Project 4						
13	News Topic 12, Introduction to Cryptocurrency, QA (Quality Assurance), Project 4						
14	News Topic 13, The Concise Guide to ITIL, Freelancing, Project 4						
15	Final Projects						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	Class participation	合計	
割合	30%	40%	20%		10%	100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。</li> <li>・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> <li>・レポートや自習課題は必ず提出すること。</li> </ul>						
<b>【教員紹介】</b>							
My name is Tope Salami. I'm a Product Manager, developer and Teacher. I love to create engaging and fun classes.							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
”1. <a href="https://docs.github.com/en">https://docs.github.com/en</a> 2. <a href="https://platform.openai.com/docs/introduction">https://platform.openai.com/docs/introduction</a> 3. <a href="https://ethereum.org/en/developers/docs/">https://ethereum.org/en/developers/docs/</a> 4. <a href="https://stablediffusionapi.com/docs/">https://stablediffusionapi.com/docs/</a> ”							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	応用英語Ⅱ		Tope Salami	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>- Staying updated with General and Technology News from English News Sources.</li> <li>- Reading Manuals in English Overcoming the fear of reading English manuals.</li> </ul>							
<b>【講義概要】</b>							
Classes will comprise: discussions about general and technology related news topics. creating projects that require reading technology manuals and homework to learn and reinforce technology vocabulary.							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Introductions, English for IT, AI or Security Projects						
2	News Topic 1, Introduction to Software, Operating Systems, Project 1						
3	News Topic 2, Software Applications, IT Careers, Project 1						
4	News Topic 3, The Internet, People in IT, Project 1						
5	News Topic 4, Measurements, Programming Languages, Final Project 2						
6	News Topic 5, Computer Types, Components, Final Project 2						
7	News Topic 6, Peripherals, Networking, Final Projects Presentation						
8	News Topic 7, The Keyboard: Part 1 and Part 2, Project 3						
9	News Topic 8, Memory. Storage and Input Devices, Project 3						
10	News Topic 9, Removable Storage, IT Slang, Project 3 Presentation, Project 3						
11	News Topic 10, English for Electronics, Computer Ethics, Project 4						
12	News Topic 11, American IT companies, English for Programmers, Project 4						
13	News Topic 12, Introduction to Cryptocurrency, QA (Quality Assurance), Project 4						
14	News Topic 13, The Concise Guide to ITIL, Freelancing, Project 4						
15	Final Projects						
<b>【成績評価方法】</b>							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	Class participation	合計
	割合	30%	40%	20%		10%	100%
	(補足)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。</li> <li>・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> <li>・レポートや自習課題は必ず提出すること。</li> </ul>					
<b>【教員紹介】</b>							
My name is Tope Salami. I'm a Product Manager, developer and Teacher. I love to create engaging and fun classes.							
<b>【教科書・参考文献】</b>							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	一般常識 I		唐戸 民雄	無	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。							
<b>【講義概要】</b>							
言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPI などでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	言語事項の確認1	社会科系統1	理数系統1	確認テスト1			
2	言語事項の確認2	社会科系統2	理数系統2	確認テスト2			
3	言語事項の確認3	社会科系統3	理数系統3	確認テスト3			
4	言語事項の確認4	社会科系統4	理数系統4	確認テスト4			
5	言語事項の確認5	社会科系統5	理数系統5	確認テスト5			
6	言語事項の確認6	社会科系統6	理数系統6	確認テスト6			
7	言語事項の確認7	社会科系統7	理数系統7	確認テスト7			
8	中間試験						
9	言語事項の確認8	社会科系統8	理数系統8	確認テスト8			
10	言語事項の確認9	社会科系統9	理数系統9	確認テスト9			
11	言語事項の確認10	社会科系統10	理数系統10	確認テスト10			
12	言語事項の確認11	社会科系統11	理数系統11	確認テスト11			
13	言語事項の確認12	社会科系統12	理数系統12	確認テスト12			
14	言語事項の確認13	社会科系統13	理数系統13	確認テスト13			
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	80%	10%		10%		100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。</li> <li>・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> <li>・レポートや自習課題は必ず提出すること。</li> </ul>						
<b>【教員紹介】</b>							
四半世紀にわたり、東京電子専門学校において、表現技法、一般常識を担当してきました。また、他の専門学校で論文作成を、都の職業訓練校でビジネス関係の科目を教えてきました。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
授業時にプリントを配付する。							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2025	3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
一般教育 必修	講義	一般常識Ⅱ	唐戸 民雄	無
単位・時間数				
2単位 30時間				

## 【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。

## 【講義概要】

言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPIなどでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。回数が前後する場合もある。

回	授業計画及び学習の内容				
1	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算1	文章題1(仕事算)	確認点スト1
2	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算2	文章題2(年齢算)	確認点スト2
3	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算3	文章題3(植木算)	確認点スト3
4	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算4	文章題4	確認点スト4
5	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算5	文章題5	確認点スト5
6	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算6	文章題6	確認点スト6
7	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算7	文章題7	確認点スト7
8	中間試験				
9	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算8	文章題8	確認点スト8
10	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算9	文章題9	確認点スト9
11	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算10	文章題10	確認点スト10
12	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算11	文章題11	確認点スト11
13	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算12	文章題12	確認点スト12
14	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算13	文章題13	確認点スト13
15	期末試験				

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。  
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。  
 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

四半世紀にわたり、東京電子専門学校において、表現技法、一般常識を担当してきました。また、他の専門学校で論文作成を、都の職業訓練校でビジネス関係の科目を教えてきました。

## 【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配付する。

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	情報関連法規Ⅱ		佐久間 悠太	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
①現代の市民生活を送るうえで必要な法的知識を修得する。 ②情報処理技術者として必要な法的知識を修得する。							
<b>【講義概要】</b>							
本講義では、身近な法律問題を取り上げて、法律学の基本的な知識を修得します。また、情報処理技術者として必要な法的知識を修得します。単なる知識として理解するだけでなく、具体的な事例をもとに、法的思考を養うことを目標とします。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	イントロダクション（知的財産権のあらまし）						
2	商標法						
3	不正競争防止法						
4	特許権、実用新案権、意匠権						
5	著作権①						
6	著作権②						
7	中間試験						
8	電子商取引						
9	個人情報保護法						
10	情報公開法						
11	情報処理技術者として必要な法律について理解する①						
12	情報処理技術者として必要な法律について理解する②						
13	情報処理技術者として必要な法律について理解する③						
14	情報処理技術者として必要な法律について理解する④						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	70%		15%	15%		100%	
(補足)	・レポートや自習課題は必ず提出すること ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
<b>【教員紹介】</b>							
名古屋市立大学大学院修士課程修了。専攻は憲法学。大学院修了後、中日本高速道路株式会社に8年間勤務し、法務業務（契約書審査や訴訟対応等）や情報システム業務を主に担当。2021年に同社を退職し、現在は行政書士佐久間事務所の代表として、企業の法務業務をサポートしている。東北大学大学院博士課程に在籍中。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
米丸恒治編『18歳からはじめる情報法〔第2版〕』（法律文化社、2022年）							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	就職対策 I		石井眞木子	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
グループディスカッションを通して自分自身を理解し、他者とのコミュニケーションを学ぶ。 また、就職活動の流れからソフトウェア業界の説明・会社訪問・採用試験などについてキャリアコンサルタントの視点から解説し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、採用面接の準備を行う。							
<b>【講義概要】</b>							
企業説明会から採用試験までの対応をキャリアコンサルタントとして解説し、ワークシートを使って自己分析を深める。 また、発表会、スピーチなどを通して人前で話す経験を積む。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	講義の説明、オリエンテーション、グループディスカッションの進め方を学ぶ（価値観のワーク）						
2	就職活動の概要を把握、就職活動の全体像、主なスケジュールなどの説明、社会人基礎力の理解						
3	働くことの意味、社会人との違いの理解						
4	グループディスカッションの進め方を学ぶ その1 実習「価値観のワーク」						
5	グループディスカッションの進め方を学ぶ その2 実習「ボランティア」						
6	お金の話（給与+残業代）						
7	中間試験						
8	ソフトウェア業界の理解、職種の構成、SEの業務内容の理解						
9	ワークシートを使って自己分析をする その1 パーソナリティ、長所と短所等						
10	ワークシートを使って自己分析をする その2 心の4つの窓「ジョハリの窓」						
11	ワークシートを使って自己分析をする その3 学生時代に力を注いだこと						
12	ワークシートを使って自己分析をする その4 挫折経験、キャリアプラン、将来の夢						
13	企業の採用に対する考え方などについての知識の理解とグループワークによる実践						
14	交流分析 その1 エゴグラムによる自己の行動の特徴の理解と今後の行動変容の認識						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	80%		10%	10%		100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。</li> <li>原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> <li>レポートや自習課題は必ず提出すること。</li> </ul>						
<b>【教員紹介】</b>							
担任業務の学生の生活指導、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
なし							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅱ		石井眞木子	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
就職活動の流れからソフトウェア業界の説明・会社訪問・採用試験などについてキャリアコンサルタントの視点から解説し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、自己PR、採用面接の準備を行う。							
<b>【講義概要】</b>							
就職対策Ⅰで行った自己分析をもとに、より自己理解を深め履歴書・ESを作成する。さらに、面説練習、様々なロールプレイングによってビジネスマナーを体験しスムーズに就職活動をするための基礎力を養う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	就職対策Ⅱの講義についての説明、就活のスケジュールについての復習、履歴書の作成についての説明						
2	履歴書を書き始める 「PREP法」を正しく理解する						
3	自己PRを記述し、グループワークによってお互いに自己PRを深める						
4	学生時代に頑張ったことを記述し、グループワークによってお互いに自己PRを深める						
5	採用試験（筆記・グループディスカッション・面接など）の説明。敬語、ビジネスマナーを理解する						
6	採用試験の筆記試験について模擬試験問題を体験し、自分の得意不得意を理解する						
7	中間試験						
8	採用試験のWeb試験（CAB、GAB）について模擬試験問題を体験し、自分の得意不得意を理解する						
9	採用試験の面接試験についての説明と面接試験のロールプレイングの準備を行う						
10	面接試験のロールプレイング その1						
11	面接試験のロールプレイング その2						
12	企業求人理解 その1. 企業の求人票を確認する						
13	企業求人理解 その2. 会社の特性の見方と自分に合った会社選びの基準を理解する						
14	内定、試用期間と懲戒についての説明と内定後のスケジュール等を理解する						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	80%		10%	10%		100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。</li> <li>・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> <li>・レポートや自習課題は必ず提出すること。</li> </ul>						
<b>【教員紹介】</b>							
担任業務の学生の生活指導、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
就職筆記試験 対策問題集 一般常識・SPI編							

# 東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	高度情報システム科	2025	3年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	企業会計Ⅱ	木村和也	有	2単位 30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

財務と会計は企業にとって非常に重要です。経営者が自社の経営判断を行ったり、第三者が企業の状況を分析するうえで必要となる知識を簿記や財務諸表の分析を通して学んでいきます。

## 【講義概要】

本コースでは、財務と会計に必要な専門知識である財務諸表から企業分析ができる能力を学んでいきます。会計や財務に関する正しい知識やスキルは、企業やビジネスにとって必要な概念であると同時に、これらを学ぶことはみなさんの人生にとっても有意義なものになるでしょう。

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション
2	財務諸表とは
3	貸借対照表①
4	貸借対照表②
5	貸借対照表③
6	損益計算書①
7	中間試験
8	損益計算書②
9	キャッシュ・フロー計算書①
10	キャッシュ・フロー計算書②
11	財務諸表分析①
12	財務諸表分析②
13	財務諸表分析③
14	財務諸表分析（演習）
15	期末試験

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。  
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。  
・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

税理士・行政書士・介護福祉士の資格を保有。現在は、税理士事務所を立ち上げて活動中。企業経営実績や介護福祉事業所の運営経験などがあり、これらを活かした「実務に役立つ授業」をしていきたいと思っています。

## 【教科書・参考文献】

ビジネス会計検定試験公式テキスト3級

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2025		3年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅲ	高度情報システム科 担当教員	無	1.5 単位 30 時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。  
 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。  
 心身の健全な育成を目指しています。

## 【講義概要】

この授業は学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	学園祭準備（1日目、2日目）
3	
4	
5	学園祭（1日目）
6	
7	
8	学園祭（2日目）、後片づけ
9	
10	
11	-
12	
13	
14	-
15	

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)				100%		100%

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

## 【教員紹介】

-

## 【教科書・参考文献】

-

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2025		3年 通年															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 選択	実習	課外活動Ⅲ		高度情報システム科 担当教員	無	1単位 15時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
<p>インターンシップで就業体験をしたり、企業との産学連携事業を通して特別授業やセミナーを受講、外部の勉強会やコンテスト参加など、就職に役立つ知識の習得や最新の技術動向に触れるなど、学内の授業だけでは体験できないことを経験する。</p>																					
<b>【講義概要】</b>																					
参加した時間数に応じて1次元単位時間を超えた場合に1単位を認定する																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	<p>インターンシップ、企業が実施する特別授業、セミナー受講、外部の勉強会参加、コンテスト参加など</p>																				
2																					
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					
13																					
14																					
15																					
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他(出席と取り組む姿勢)</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>50%</td> <td>50%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(出席と取り組む姿勢)	合計	割合				50%	50%	100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(出席と取り組む姿勢)	合計															
割合				50%	50%	100%															
<p>(補足)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。</li> <li>・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。</li> <li>・レポートや自習課題は必ず提出すること。</li> </ul>																					
<b>【教員紹介】</b>																					
-																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
-																					